

最近のゲリラ雷雨もさることながら、つい一昨年には本土に台風が 10 回以上も上陸したり、今年も一度も台風が沖縄に到来していないという異常気象に皆様はお気づきですか？ダイビングやシュノーケリング、海が大好きな人たちにとってこれは非常に大きな問題になるようです。沖縄は世界有数の綺麗な海のある場所として有名ですが、台風の有無はこの海を装飾する豊かな珊瑚に大きな影響を与えるのです。

台風が来ることにより、海水温度が上がり過ぎないようにコントロールされているため、沖縄の海は素敵な珊瑚が生息できると言われております。昨今の温暖化の影響や海中の二酸化炭素濃度などの影響により、珊瑚の白化現象が進んでおり、珊瑚の死滅が加速度的に進んでいくとの見方が広がっております。このまま台風が来ないと、更に珊瑚の死滅が危惧されるのです。そして、この影響は珊瑚だけにとどまらず、珊瑚を中心とした生態系を崩し、最終的には生態系ピラミッド、食物連鎖ピラミッドの頂点に立つ我々人類の生態系へと影響を生むのです。私たち人類の人口は 1930 年で世界人口 20 億でしたが、2005 年には 60 億を超えました。ただでさえ、頂点にある我々人類は多くなっており、生態系への影響を考えなければならないのに、生態系の底辺でもこのように変化が起きていることを知ることが重要です。

人は皆、健康でいたいと願うものですが、健康を勝ち取るためには、良い食材や水、空気に恵まれる必要がございます。そしてそれらを手に入れるためには自然環境そのものを良い状態に戻す必要があるのです。これらの問題は決して他人事ではありません。

私達に何ができるのでしょうか。海水を汚す原因のほとんどは生活排水によるものです。したがって環境に負荷をかけないものを選ぶべきをなるべく選ばなければなりません。化学洗剤、合成洗剤はその洗浄力はさることながら、生態系底辺である微生物層に大きな影響を与えます。微生物は細菌だけではなく、生態系の一因を担っているということを是非ご考慮ください。私たちは乳酸菌に代表される善玉菌たちと共存状態にあります。彼らが困ることは、最終的に私たちが困ることにつながっていくことになるのですから。